

平成 31 年 4 月 17 日

平成 30 年度
関東地区調整機構（関東支部）事業報告

1. 総会 / 委員会の開催について
 - 1) 運営委員会 2 回（3 月 29 日、12 月 7 日：東京都病院薬剤師会事務局）
 - 2) 総会 2 回（4 月 18 日、12 月 27 日：慶應義塾大学芝共立キャンパス）
 - 3) 大学小委員会 3 回（4 月 18 日：慶應義塾大学芝共立キャンパス、7 月 25 日：北里大学、12 月 27 日：慶應義塾大学芝共立キャンパス）
 - 4) 薬局小委員会 2 回（4 月 18 日、12 月 27 日：慶應義塾大学芝共立キャンパス）
 - 5) 認定実務実習指導薬剤師養成小委員会 2 回（12 月：メール会議、平成 31 年 2 月 28 日：慶應義塾大学芝共立キャンパス）
 - 6) トラブル防止小委員会 1 回（メール会議）
 - 7) 実務実習評価委員会 4 回（1 月 22 日、3 月 12 日、5 月 31 日、平成 31 年 3 月 4 日：北里大学）
2. 実務実習施設の割り振り調整作業について
 - 1) 平成 31 年度の割り振り調整について

4 期制（I 期に伴い、5 月より Web 上で大学の第 1 回エントリーを開始し、7 月までに 3 回のエントリーと抽選を行い、10 月には最終決定とした。今年度より薬局についてはエリアでのエントリーに加えて、エリア内の希望薬局を学生が選択できるようにし、決定したエリアにてエリア担当者が希望を考慮した施設の割り振りを行い、病院・薬局ともに支障なく行った。
 - 2) 平成 31 年度ふるさと実習（地区内外）の割り振りについて

エントリーは地区内と同時期に 3 回行い、病院については、3 回ともに関東全域について他地区からのエントリーも受け付け、薬局については長野、山梨、新潟、栃木、茨城、群馬は 1 回目から受け付け、2 回目以降、埼玉、千葉、神奈川、東京を含めた全域で受け付けた。割り振り調整の結果、支障なく割り振りを完了した。

31 年度の地区外（7 地区）への希望者は、病院 17 名、薬局 29 名であった。東北地区および近畿地区が比較的多かった。また、地区外から希望者は東北地区、東海地区、近畿地区からあり、病院 23 名（決定 16 名）、薬局 32 名（決定 29 名）であった。
3. 実務実習の円滑な実施に向けた事業等（トラブル、データベース、ふるさと等）について
 - 1) 平成 30 年度実務実習の円滑な実施と評価に向けた取り組み
 - (1) 各期について実務実習実施状況調査

第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ期実習について、各大学および地区病院薬剤師会・薬剤師会に実務実習実施状況調査を行った。Ⅲ期についてはまとまり次第報告する。トラブルに関してはこれまでと類似の事例が報告され、連携等に関しては問題なく行われていた。

(2) 実務実習に関するトラブル事例の収集と防止策の検討

実習状況報告の他、トラブル事例を収集しトラブル防止小委員会にてトラブル解析および対応策の検討を行い、総会にて報告した。

(3) 実務実習に関する良い実習事例の収集

大学から良い実習事例を収集し、総会にて報告した。また、実務実習評価委員会において良い事例として選出された2病院、2薬局の実務実習事例を関東地区調整機構の委員を対象に報告会を開催した。(平成30年7月25日北里大学)次年度はオープンな報告会として開催する予定である。

2) 実務実習の質の担保への取り組み

実習施設概要および認定実務実習指導薬剤師の一元管理のためのデータベースをもとに割振り調整時の大学でのエントリーにおいて実習施設概要書を活用してもらい施設の選択への活用を図った。その後、次年度に向けて施設概要書の更新をお願いした。

4. 認定実務実習指導薬剤師の養成 / 認定実務実習指導薬剤師の資質向上

1) 新認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催：9回(20P)(事務局)

第1・2回：平成30年4月29、30日、帝京大学板橋キャンパス(東京都薬剤師会)

第3回：平成30年7月15、16日、独協医科大学(栃木県薬剤師会)

第4回：平成30年7月15、16日、昭和薬科大学(東京都薬剤師会、神奈川県薬剤師会・病院薬剤師会)

第5・6回：平成30年9月16、17日、帝京平成大学中野キャンパス(東京都薬剤師会)

第7回：平成30年10月7、8日、新潟薬科大学新津キャンパス(新潟県薬剤師会)

第8回：平成30年11月3、4日、慶應義塾大学共立キャンパス(東京都薬剤師会)

第9回：平成31年1月13、14日、帝京大学板橋キャンパス(埼玉県薬剤師会)

今年度も認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップについては多地区合同で開催した。

2) 認定指導薬剤師の資質の向上のためのアドバンスワークショップの開催

1都9県の薬剤師会および日本保険薬局協会を担当事務局としてWS形式で計31回(参加者数1618人)のアドバンスWSを行い、学習成果基盤型教育に対応したカリキュラムプランニングの浸透を図った。アドバンスWSの修了者には関東地区調整機構より修了証を発行した。

5 改訂モデル・コアカリキュラムへの対応について

1) 平成30年度の実務実習において改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習

の先行導入の推進

改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の先行導入を行うように各小委員会および総会にて働きかけた。

2) 先行導入に関する調査の実施

平成30年8月から10月にかけて病院、薬局に対して先行導入に関する調査を行い、病院175施設、薬局591施設から回答を得て、結果を中央調整機構委員会、日本薬剤師会の関東ブロック会議、総会等にて報告した。総会においては次年度の本稼働の終盤に同様の調査の実施について協力要請を行った。